



さいたま市

# たていわ通信

令和5年度第2号(6・7月)  
さいたま市立館岩少年自然の家  
TEL 0241-78-2311  
FAX 0241-78-2313



【基本理念】 自然に触れ 自然に学び 自然で鍛える

URL <https://tateiwa-sizen.saitama-city.ed.jp>

南会津地域では、夏の始まりを告げる山開きが行われ、来たる7月29日(土)には「会津高原たていわ夏祭り2023」が実施されます。自然の教室でも夏の太陽にも負けない、子どもたちの元気な声が響いていました。実施を終えた学校の様子をいくつか紹介します。今後も自然の教室がどの学校においても充実した3日間になるように、所員一同一層努力して参ります。

## 活動コーナー

たかつえ

南郷

### ☆ 大東小学校 「川魚さばき」



初めは怖がっていた子どもたちも、ニジマスをつかみ、さばくことができました。命の恵みについて真剣に考えて活動をする姿が見られました。

### ☆ 常盤北小学校 「キャンプファイヤー」



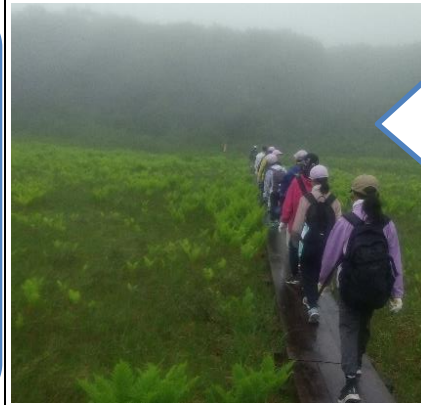
仲間と火を囲み、音楽に合わせて歌を歌ったりダンスをしたりしました。子どもたちは火の大切さを学び、キャンプファイヤーを通して仲間との絆を深める姿が見られました。

### ☆ 与野西北小学校 「野外炊飯」



野外炊飯で、豚汁を作りました。かまど担当の子どもたちは、班の友だちと協力して薪の組み方から考えて、火を起こすことができました。安全に気を付けて活動する姿が見られました。

### ☆ 桜木小学校 「宮床湿原散策」



天気はあいにくの雨でしたが、自然豊かな宮床湿原を目指し、仲間と声を掛け合いながら歩くことができました。自然に興味をもち、ニッコウキスゲやワタスゲが咲く素晴らしい景色を楽しみながら歩く姿が見られました。

## 自然の教室 実施後の児童の変容から ～ 一部抜粋 ～

館岩少年自然の家では、「自然の教室」の実施を通して、子どもたちの豊かな心を育み、「非認知能力」の向上を図っています。「非認知能力」の効果測定項目は、自然体験活動と児童生徒相互の理解・協力の達成度です。自然への関心、課題発見・設定、思考・理解、学習との関連付け、規範意識、思いやり・協力、あいさつ、時間厳守などがあります。自然の教室を実施した学校に、児童がどのように変わったかを実施後の変容として学年主任の先生に回答していただいています。その中からいくつかを紹介します。

- ◎クラスや学年で友だちの輪が広がった。『一緒に楽しもう。頑張ろう。』という意識が高まった。(思いやり・協力)
- ◎時間を意識して行動できることが増え、遅れないように時計を見て移動したり、待たせないよう急いだりする姿が多く見られるようになった。(時間厳守)
- ◎昨年よりもあいさつができるようになり、自然の教室後成長している姿が見られるようになった。(あいさつ)



## プログラム紹介(Vol. ①)「笹まき」

① 笹の葉の表を内側にして三角に折りまげる。



② 三角部分に、もち米を入れて笹でふたをする。



③ もう一枚の笹の葉をかぶせて、両端を折り曲げ、三つの角にひもをかけて結ぶ。



30分ほど  
ゆでればで  
きあがり。

このプログラムは、地域の伝統的で特色ある食事を作り・食すことで、先人の知恵を学ぶことができます。笹には、殺菌・抗菌作用があります。友だちと協力しながらおいしい「笹まき」を作ることを通して、昔ながらの保存方法や食文化を体験することができます。 所要時間:2時間(茹で時間 含む)

## 南会津町の紹介(Vol. ②)「前沢曲家集落(まえさわまがりやしゅうらく)」



前沢地区の代表的な建造物「曲家(まがりや)」は、L字型の形をした茅葺屋根の民家です。土間が長く突き出して L字型なのは、南会津の雪深い気候に関係があります。冬は一晩で1メートル以上積もることがあり、そんな雪深い中、外の馬屋へ世話をしに行くたびの雪かきが大変だったため、住まいの中に馬屋を設けました。



※平面図はイメージです。  
写真のものではありません。

## 自然探訪 ~6月・7月~

南会津の自然は四季折々にさまざまな表情を見せてくれます。待ちわびた春が過ぎ、夏を迎えました。南会津の夏は湿度が低く涼しくさわやかです。あふれるような木々の緑に囲まれた過ごしやすい日々が続きます。

宮床湿原では7月、「モウセンゴケ」が見られます。「モウセンゴケ」は食虫植物です。湿気があり、やせた酸性土壌を好む湿生植物です。

葉の上に粘液を出して虫を捕え、消化酵素を出して養分を吸収します。



モウセンゴケ  
(南郷 宮床湿原)

たかつえ朝の集いで雲海が見られました。朝晩の気温差が激しい時期に雲海が発生しやすいとされています。夜間にぐっと冷え込むことで放射冷却が起こり、逆転層状態になりやすくなるからです。



雲海  
(会津高原たかつえスキー場)